

いなべ市こども・子育て拠点施設整備 基本構想(案)に対する意見と考え方

No.	意見	回答
1	私は今、7 歳、5 歳、1 歳の子を持つ母です。 下記のように、 いなべの自然の中で ○開館時間 9 時から 19 時まで ○こどもの創造性を育むおもちゃの中でデジタルが挙げられたことに違和感。こどもがどんなおもちゃがあれば楽しめるか、 また、なにを感じるのかの本質はデジタルではわかりづらいと体感します。 こないだ行った津市の子育て	貴重なご意見ありがとうございます。 未来を担うこどもたちが、自然と技術の調和を体感しながら創造力を育める場所として、本施設を整備したいと考えています。 この施設は、幼児だけでなく、小中高生、若者も対象としています。最先端の ICT 技術を取り入れることで、成長過程にある皆さんの情報を活用する力、探求心を育む機会が増えると考えています。 手や体を使った体験に加え、ICT に触れられる場を整備し、次世代型の学習・体験空間を実現を目指し、検討を進めます。 (情報課、こども政策課)
2	いなべで自然保育と野遊び学童に携わらせていただき、自然豊かな環境の中で暮らすことが子どもたちの育ちにいかに素晴らしい影響を与えるかを日々実感しています。 この拠点もきっとそんないなべの環境を最大限に活かした場所となり、幅広い世代の交流ができるといいですね。 例えば平日学校に行けなくなり昼間外へ出にくくなる子どもたちにも利用しやすいような環境であったらステキだなと思います。 食事できる場所もお弁当持ち込みも可、おにぎりとか軽食もあり、学校給食と同じメニューもありなど学校へ行かなくても給食食べられる場所みたいなのはどうでしょうか。 不登校のイメージを親子で少しでも明るく受け止めてられるような登校時間に行っても怒られない居場所の1つができたら嬉しいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 日頃の自然保育、野遊び学童の活動から得られた知見は、現在のこどもたちの姿がわかる重要なものであると考えます。 自然豊かな環境がこどもの育ち良い影響を与えることを考慮し、さまざまな境遇にいるこどもたちの居場所として活用できるか検討を進めます。 (こども政策課)

3	この度の構想の基本理念となった「つどい つながり はぐくむ みんなの居場所」に感動し賛同しコメントをさせていただきます。 いなべ市内で3人の子育てをする者です。 第一子出産後は、親戚や知り合いがひとりも無いところから、また日常的には遠方の両親の手もほぼ借りることもなく、 自分なりに楽しく子育てをしてきました。 その経験から、まずは、子育てが、たったひとりの母親の手だけに委ねられるものではなく父親とのゆるやかな役割分担と協働のもとで、 このような施設に通うことから 多年齢層の「地域の知り合い」ができ、まちのみんなで子どもたちみんなの育ちを見守るような風潮をつくる一端となる施設になることを望みます。 施設の詳細な内容以前に「いなべ市の子育てのスタンスはつどいつながることだよ」というメッセージがあることが今回を機にとっても重要なことだと感じました。 まずは「こども」がどのような施設を望むかは、我が家では本人たちに想いを聞き取り別途パブコメさせていただきました。 親としては、こどもたちにとってとても大切な「遊びの機会」が本当に少ない現状を危惧している中で、小学生には時間と場所が足りず、中学生にはリラックスするタイミングが足りず、高校生には地域とつながる機会が足りない、 そんなことを考えております。複合型の施設ができて、中高生（少なくとも大安町や三岐沿線住まい）は自分の意思と行動で自ら立ち寄れることになるといいなと期待しますし、土日などは福祉バスの運行を、この施設に通うこどもたちを考えて路線や時間を組んでいただけることを望みます。 施設の内容としては、構想にあげていただいているように、いなべの地域資源として「森林資源（木質）」と触れることができるゾーンと 子どもたちがどっぷりと本を読みふけることができるようなゾーン これは、岐阜の「木遊館」「岐阜市立中央図書館」大阪の「もっくる」の縮小版のよ	貴重なご意見ありがとうございます。 多年齢層の交流の促進や、多世代の交流を促進するスペースについて、地域全体でこどもたちを育む環境づくりに貢献すると考えます。基本構想でも、こどもや保護者を支える地域の力を重視しています。 福祉バスの運行について、特に小中高生のアクセス向上に寄与するご提案と考えます。 地域に根ざしたスタッフによる見守りについて、地域の特性を理解する人材確保は重要と考えます。 レイアウト、体験のご提案について、居場所を必要とするこどもと保護者の視点が組み込まれており、参考になります。 周辺の環境活用やランニングコストの上でも、いただいたさまざまなアイデアを参考に検討を進めます。 (こども政策課)
----------	--	---

うなゾーンがあるといいなと思います。

あと大切なのが、「自分には関係ない場所」とならないように開けていること。

たとえば図書ゾーンから、子どもたちの遊ぶ様子を「ほほえましく」見られるしくみがあるといいですね。

子育てにかかわる人が(子どもの年齢に関係なく)ほっとゆっくりできるような多目的スペース(飲食可能なテーブルチェアや、外から入出せずに立ち寄れるゾーン)もあるといいなと思います。

外に開けた、大きな軒(屋根)の下に、小さい子どもと持参のお弁当など食べられる広い場所があり、そのまま 屋根の下で雨や陽ざしを気にせずに遊ぶことができるようになっているのも助かると思います(小さな子と食事するときに、ピクニックシートを敷いて食べられるような場所があることは育児中とてもほっとしました)。

子育て支援センターは、入館のための条件があって、未就園・就園・就学の子どもが同時にいると親は行き場が難しいため みんなで入れるということも大きな魅力だと思います。

冬季、室内の暖房は薪ストーブ。薪割りから利用者(親でも子でも)ができるようにし、間伐材の活用・ランニングコストの低減・薪割りという体験・自然資源の循環・生活への取り入れの啓発 など見込まれます。

宇賀川の流れや、春の桜などが室内からでも一体的に見られるような建物のレイアウトがいいなと思います。

あと、最後に、この施設に携わる「人」です。

いなべを語れる人、子育てのすばらしさを語れる人、子どもの育ちを共に喜べる人、いなべの自然の意義を語れる人、そのような人のチームが作れるといいなと思います。

親が子どもに過干渉につきっきりにならないでもよいように(自由にあそべるように)、見守りの共通理念をもったスタッフが施設内にいられるようにし、スタッフの見守りや声かけが保護者の方にも参考になるような、親も学べる という場所に

	なることが理想です。 運営については(そこが難しいんだと思うんですが)、市内住民と市外からの客層による利用料の差異をつけ(市民は無料、市外は有料)、少なくとも市民が足しげくどなたでも来られるようにできるのが良いと思います。市民プールはその差異がなく、市民は損な感じがしてます。 カフェなどを併設し(できるだけセルフサービスのシステム)飲食の定常的な提供ができること、クラフトなど体験サービスを受けられる場所を定常的に開設すること、ちょっとした掃除や片づけは自分でできるよう促しあらかじめ「過度のサービスが無い施設」として浸透するようなしくみがいいなと思います。 まとまりなく、最後は時間切れなコメントとなりましたが、 グリーンインフラ事業として、建設の対象エリアは変われど、 市民の構想会議からここまでさまざまな場面で関わらせていただき、いよいよひとつの形となる構想提示に 市民として感謝と期待を込めて送らせていただきます。	
4	石樽小学校 3 年生 ういこっちゃんみたいなのが、自分で行きたい時に行けるところにあったらいいな。 木でできたすべりだいがあって、 登るとでっかいハンモックがあって、 トランポリンもあるところがいいです。 縄跳びとかボールの貸し出しがしてもらえて、 本棚があって まもあるけど勉強の本もある 歴史の本 木でできた遊具があるところは楽しいです。	貴重なご意見ありがとうございます。 計画している施設は「木」をテーマに考えています。ご提案いただいた「木でできたすべりだい」はとても参考になります。ハンモックやトランポリンも参考にします。 小学生のみなさんがたのしく読書できる本を置きます。また、利用者の学習等に活用できる図書も並べられるように検討を進めます。 縄跳びやボールの貸し出しも、これから考えていく段階で検討を進めます。 (生涯学習課、こども政策課)

5	大安中学校 3 年生です。 ほしいのは、 ひとり空間。勉強してもいいし、スマホをさわっていてもいい場所。 充電スペースと Wi-Fi がついている。 カフェみたいなところ。 一番いいのは、おふろ café あげき温泉の休憩室 そのままみたいな感じの場所 畳が敷いてある広い場所、木に囲まれているような部屋が欲しい。 とりあいにならないハンモックがあるとうれしい。 売店(コンビニ お菓子 ちょっとごはん 飲み物 文房具)があるとうれしい。 はしゃげる部屋と静かにしたい人がおれる部屋にわける方がいいと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。 おふろ café あげき温泉のような休憩室、ひとりの空間のご提案について、中高生の皆さんが自習ができたり自由に過ごせる場所は必要と考えます。 施設内の Wi-Fi やスマホ等の充電環境について、学習や体験活動、交流活動に役立てていただくため、整備を考えています。 利便性を高める売店設置や、はしゃげる場所と静かに過ごす場所のゾーニングも大切であると思います。 いただいたご意見を参考に、検討を進めます。 (情報課、こども政策課)
6	大安町の友だちはみんな、員弁のシビックコアのようなところが大安にも欲しいと話しています。 飲食が許されて、自習できるスペース たとえば勉強できる二階から窓越しに室内で遊ぶ小さい子が遊ぶ様子が見れる(見たくないときはスクリーンカーテンおろす) Wi-Fi がある 雑誌や漫画が自由に読める ki-ond(多気町の木育施設 https://kiond.com/ みたいなところ(高校生でも遊びたい) パソコンやタブレット(友だちとも調べ学習ができる)が貸し出してもらえる 卓球台 バドミントンなど ちょっとしたスポーツ が遊びでできる用具の貸し出しとスペース 菰野図書館のように DVD が見られるスペース 高校生になって、そういう場所がほしいと思いました。(いなべ総合学園高校 2 年)	貴重なご意見ありがとうございます。 シビックコアのような場所のご希望について、計画している大安の施設では、自習ができるスペース、飲食ができるスペースを設置予定です。物品の貸し出しや、こどもの様子を見られる配置等のアイデアも参考になる視点だと考えます。 施設内の Wi-Fi やスマホ等の充電環境について、学習や体験活動、交流活動に役立てていただくため、整備を考えています。 また、DVD が見られるスペースについては、絵本、児童書のほかに、小中高生、若者の読書支援ができる図書の充実、DVD(動画)コーナーの設置を考えています。 いただいたご意見を参考に、検討を進めます。 (情報課、生涯学習課、こども政策課)

7	放課後や休日の子どもの居場所が暑い時期や寒い時期は自宅に招いたり友達の家になってしまうため学校の空き教室や体育館など校区内の室内で遊べる場所を開放してくれないと自宅では大人数では思いっきり遊べないしボール遊びなど体を動かすことは困るのでみんなでゲームやYoutubeを見て過ごしてばかりいます。 商業施設を増やすのは簡単ではないので交流できる場所の開放を早急をお願いします。 自然がたくさんあると言われますが公園も少なくどこが遊んで良い場所なのか教えてほしいです。 中高生の居場所もなく Wi-Fi 環境の整った室内を開放してほしいです。保護者が動いて自治会館や学校を開放してもらうには手続きや人員確保・予算確保維持継続していくのが難しく諦めています。行政で力を合わせて子育てしやすいいなべ市だよと言えるいなべ市にしていきたいです。	貴重なご意見ありがとうございます。 こどもの遊び場の不足について、計画している施設では、木育をテーマにした小さなこどものためのスペースのほか、小中高生、若者、子育て世代に活用していただけるスペース設置も考えています。Wi-Fi 環境についても、学習や体験活動、交流活動に役立てていただくため、整備を考えています。 ご意見いただいている、暑い時期、寒い時期の放課後や休日に、こどもの居場所となるよう、検討を進めます。 (こども政策課)
8	子供の居場所がない。 四日市は児童館があり放課後行ってました。 温水プールも高すぎる。 大した設備はないのに。子供たちが友達と行こうとならない。飛島プールとかはもっと凄い。なのに子供200円。 中学校になると部活動あるが聞いてびっくり。部活の少なさに。 地域移行ではあるが誰が送迎するのか問題。 もっと子供の可能性を引き出してくれるいなべ市に。 大安プールも出来たから水泳部もあって良いのにその時間は習い事の時間に使われていて部活動としては使えない。	貴重なご意見ありがとうございます。 温水プールの料金や利活用についてやこどもの居場所の不足について、課題を教えていただきありがとうございます。 計画している施設には、幼児、小中高生、若者、子育て世代の居場所を含みます。成長過程にある皆さんの可能性をひろげる施設になるよう、検討を進めます。 (生涯学習課、こども政策課)

9	施設まで子供が自分で行ければ便利。近場なら徒歩、自転車。距離があるならバス。	貴重なご意見ありがとうございます。 交通手段について、こどもが自身で通えることが重要と考えております。 いただいたご意見を参考に、検討を進めます。 (こども政策課)
10	いなべ市こども子育て拠点施設整備 基本構想案を一読し、子育て「おさんぽの会」のお手伝いをしたり、孫育てをしたりする観点からまた高齢者として、ここいなべで楽しく暮らしていくために意見を述べさせていただきます。以下最近の体験などを通して考えることを箇条書きにします。 ○いなべこども活動センターでの教え子と大安駅で出会いました。中学生になった彼女は勉強をするために大安図書館の学習室へやってきたのですが、人が多くて座る席がない。どこか勉強できるとこ知らないと言われる。この子らが使える場所が欲しい。 ○おさんぽの会のみなさんは、たくましくて雨が降っても雪が降っても風がふいても雨具を準備し、遊べるところを探します。雨の時は橋の下だったり、ひさしが深い建物の陰だったりします。外で遊んでいて急な雨にみまわれてもすぐ入れる施設があるとどんなにいいでしょう。 ○海外から帰った乳児を子育て中の娘がいます。ハッピーハートを利用させていただきました。先生方の手作りおもちゃや木のおもちゃが多いことに感激していました。大変助かり、ありがたく利用させていただきました。そこで娘のいる国ではおもちゃの貸し出し制度があるとのこと、そんなこともできる施設があるといいなと思いました。 ○私がおさんぽの会を手伝うことで二人、三人の子どもさんを連れてくるお母さんのお役にたて	貴重なご意見ありがとうございます。 中学生が学べる場所の不足について、大安図書館の閲覧(自習)スペースは席数に限りがあり、中高のテスト期間が重なると座れないといった声を、日ごろ伺っています。 こども子育て拠点施設では、小中高生、若者の読書支援ができる図書の充実、自主的な学習を支援するスペースの整備ができるよう、考えていきます。 雨天時に対応できる施設について、おさんぽの会の活動等市民の子育ての活動でも活用できる全天候型の施設を目指します。 おもちゃの貸し出し制度について、地域のニーズに応じたサービスを提供できるよう、運営方法を柔軟に考えていきます。 こどもから高齢者までの集いについて、この施設は、こども、若者の主体的な成長を重視し、こども、若者、子育て世代中心の場所として計画しています。高齢者のほか、こども、若者、子育て世代を応援する地域の皆さんが、ボランティア等で訪れやすくなる取り組みも行い、地域全体で子育てを応援する環境を整えていきます。 図書館について、この構想は、こども子育て拠点施設の整備において、図書の設置を考えていることをご理解いただければと思います。対象は主にこども、若者、子育て世代ですが、ご提案いただいた「自然に囲まれたなかでの読書」というアイ

	るかなと出かけています。そこで私自身は若いお母さんたちと交流できるし、かわいい子どもたちからは元気をもらっています。その経験から子どもから高齢者まで集える場があればいいと思います。 ○いなべ市には旧町単位の図書館があります。それぞれの取り組みも素晴らしいと思いますが、真ん中にでんと中央図書館があれば、老若男女集えます。読み聞かせのための本選びも一力所でできるとありがたい。大人のための新刊も手に入ると嬉しい。自然に囲まれた中で本を読める図書館、それがいなべの魅力になると嬉しい。	デアも参考に、多世代が利用できるしくみづくりを考えていきます。 いただいたご意見を参考に、検討を進めます。 (生涯学習課、こども政策課)
11	今回の拠点施設整備、基本構想の前に、いなべ市の今後の人口形態や、まちの抱えている問題からの意見を述べます。 いつも感じるのが、公園や、施設を作ってみたけど、市内の交通の便の悪さから子どもだけで移動できない、休日に家族と、利用するしかできない施設や、あと、子どもに特化施設だと子どもの人口は減っていく 施設だと、維持管理や公園にしたとて遊具を設置するとまた、維持管理メンテナンスに費用もかかる。 いなべ市の良さを活かしたものは何かを考えると、自然とフィールドの広さです。 今、夏休み真っ只中子どもの居場所が学童一択と学童に行くことが当たり前になってしまっていて特に、長期休みの学童はぎゅうぎゅういっぱい窮屈で、支援員さん達も疲弊してたり、全国的に学童が見直す傾向にあります。 いなべ市がグリーンインフラを進めるには、究極、学童を無くすこともひとつではないかと思いました、 放課後の過ごし方から見直す少ない生徒数の学校だと学童に行く子どもが多いと、放課後遊べる友達いないから学童に入れる、長期休みに預け先ないから学童に通年入れるとなると、いつ、いな	貴重なご意見ありがとうございます。 アクセスについて、子どもたち自身が通えることが重要であると認識しています。 学童の現状と課題について、この施設は学童に代わるものではありませんが、児童の放課後のあり方が全国的に変化するなか、新たなこどもの居場所の整備が必要と考えています。この施設もこどもの居場所のひとつとなるよう、機能の整理を進めます。 こどもの遊び場の多様性について、ご提案いただいたように、この施設がこどもの新しい遊び場となるよう進めます。木育やデジタルをテーマに多様な遊びの機会を提供し、子どもたちが楽しめる環境を整えていく方針です。 こどもの意見の取り入れについて、パブリックコメントはこども世代からもいただいております。また、現在策定中の「いなべ市こども計画」で、中学2年生、高校3年生年代にアンケートを実施しますので、このアンケートでいただいた意見も参考にします。 地域の現状と今後の方向性について、この施設は、こども、若者の主体的な成長を重視し、こど

べの自然を感じて外で遊べるのか？ 今は、子ども達の体験格差も大きいです、特に長期休みは、高学年になると学童行かず家にいます、一日中外に出ず家の中でゲームです、市内で子ども向けワークショップもたくさん開催していますが送迎者がいないと行けません 学童いってない子どもは、母親が働いてなくて家にいる家庭ではないです。 もう、昭和の家庭からいなべ市は止まったまま。祖父母も近くにいない家庭もたくさんみえます。夏休みのプールはなくなり、(プールなくなったのは理解できます)ラジオ体操もなくなり、一日中家にいる子どももいます、一日とは、いいません半日でも子どもだけでも出かけられる場所が地域にあればと、小学校の体育館に冷房が順次つきますよね、長期休みや、放課後開放してるとか いなべ市も高齢者のが多いのは強みです。高齢者の方々のサロンや集いの場所が地域で開催してるなら、子ども行けるとか、松阪市は、長期休みシルバー人材センターが子ども居場所を委託してはじめてみたいです。 人口もすくなくなるから、多世代交流かできる場所として地域の中であれば高齢者も足がない子どもも足がない 同じ問題に直面してます。 もりの家に通う子どもが増えるのではなく、もりの家が各地域に広まるのがグリーンインフラではないのかと、 もりの家は確かに素晴らしいし、スタッフさんのスキルは高いです。 が、そこでもりの家に通える家庭と通えない家庭で格差ができてるし、土日に遊べる場所は、保護者によってまちまちです、土日仕事の方々もみえて 放課後は、平等に与えられた時間 せめて、放課後 1 時間でも思いっきり	も、若者、子育て世代中心の場所として計画しています。高齢者のほか、こども、若者、子育て世代を応援する地域の皆さんが、ボランティア等で訪れやすくなる取り組みも行い、地域全体で子育てを応援する環境を整えていきます。 (こども政策課)
---	--

好きなことができればなあと、

パブリックコメントなんですけど、子ども達には聞かないのですか？

子ども真ん中社会というなら子どもの意見も聞くことがあってもよいのではないのでしょうか？

ということで中学生の息子に聞いてみた、
昼間は、公園でボール遊びするな、夜勤の方が寝てるから

ゲームセンター 川も行くな、どこでどうやって遊ぶんや

と、禁止ばかりで結局室内でゲームですね～

大人が子どもの居場所をなくしたり決めたりして、

勝手にいつも大人が決める と言われました、
子どもに聞いても仕方ないと 言う方みえますが、

そんな子ども達が大人になり、まちづくりや選挙に行きましょう いてもいらないですよ。

中学生の息子が 低学年の時から学童問題に直面しましたが、結局なにも変わらず

時が経ち、去年若い保護者の方々が学童立ち上げに動きましたがなかったことになってますね

結果は、ダメでしたが、こういう動きがあったことは、示してほしかった

一部の保護者の問題ではなく、いなべ市の問題です。

皆様、こえをあげることすら 諦めてますから、
市民がこえをあげることを諦めることは、住みやすいまちづくりから離れていきますね、

結果は、うまくいかなかったけど市民の声として残してほしかったです。

まだまだ若い保護者さん達なんで、第二子三子と子育てするかもしれないのに

決して学童批判してるわけではありませんむしろ学童支援員さんには、

	大変お世話になって感謝してます、いなべ市独自のやり方がきっとあるはず いなべのフィールドを使ってわざわざそこに行かなくても日常生活に溶け込んだやり方が あと、世代で切り離してしまうと 人手不足のだから 持続可能かどうか 拠点施設作りの前に本来議論しないといけない部分だったような 自治会の加入率も悪くなりつつある今、地域とは、どのように今後運営していけるねか 集会場所や、自治会館もいなべ市は多い、学校も空き教室もある、 今あるハードをどう使っていくか子どもの居場所も欲しいけど、シニア世代の集いの場所も欲しい まちの問題から検討してみたかったです。予算をかけるより ハートをかけたいなあ すみません 市に対してな批判ではないです、文句より アイデアを出すようには 考えてます。 いつも パブリックコメントの周知が難しいなあ と。なかなか、パブリックコメントの存在を知っていただけなくて 市も、一生懸命取りくんでますから、皆様に広く知っていただきたいですね。 市民と一緒につくるまちづくり 宜しくお願い致します。 いつもありがとうございます。	
--	--	--

なぜ、拠点施設整備をするか説得ある説明がないように感じる。

子育て世代をとりまく現状と課題で世帯数等減っていると示されたうえで、合併してから今まで必要でなかった施設が今からいるのか。

市民意見があっただけでここまで動いているのか。

既存の施設はどうするのか。それに対して市民への周知など何もされていないと思うが、構想のスケジュールで進めれるのか疑問に思う。

貴重なご意見ありがとうございます。

拠点施設整備の経緯について、この構想は市民ニーズと各種統計の整理から検討を始めています。

ニーズについては、「第2次いなべ市総合計画策定のためのまちづくり市民満足度調査報告書」(平成 27 年1月報告)、「第3期いなべ市子ども・子育て支援事業計画」策定に向けたアンケート調査(令和6年2月、5月)、「第3次いなべ市総合計画基本構想」パブリックコメントの意見(令和7年1月)等で、数年前から「親子の居場所」、「天候にかかわらず過ごせる場所」、「多様な遊び・学び体験の場所」への要望を把握しております。

各種統計については、市のこども・子育てに関する環境や事業、各種統計データ(年齢3区分の推移等)の課題整理を行っています。

ニーズへの対応において、積雪、酷暑、獣害、自習室の不足など等いなべ市特有の事情から、ソフト事業や既存の子育て支援施設のみでは困難であるため、拠点施設の整備検討に至り、構想を策定しました。

既存の施設については、整備予定地にある旧大安庁舎のほか、公共施設等総合管理計画に従い、方向性を検討します。

市民への情報提供を強化し、情報誌 Link やホームページを通じて進捗を随時周知するほか、基本計画策定時にもパブリックコメントを実施します。

拠点施設整備が必要であるとのこと説明が不足していたとの指摘を受け、基本計画策定時に記載します。

(こども政策課)

13	年少さんから中学生まで遊べる施設となるとかなり大掛かりかもしれませんが、以前私が利用した事のある施設がとても良かったので意見します。 イギリスのオックスフォードにある milletsfarm という農場が運営している施設の一部ですが、sprouts play barn という大型室内施設です。 https://www.milletsfarmcentre.com/ 施設はこれだけでなく、屋外で遊べて、食事でもでき、農場で採れた野菜や肉、加工品なども売っています。 このような施設はいなべ市の環境なら良いのではと思いました。 市が運営すると無難な施設になりがちな印象ですが、想像を超える施設を作っていただきたいです。	貴重なご意見ありがとうございます。 milletsfarm の「sprouts play barn」は、地域の特性を活かした施設であり、農業資源を活用し、屋内外で遊べる空間や地元の食材を提供する場等、運営面で参考になると考えます。 いただいたご意見を参考に検討を進めます。 (こども政策課)
14	○要望趣旨 ・屋内だけでは過ごしにくい人もいる。 ・屋内と屋外のハイブリッドへ。 ・いなべの自然環境と繋がる。 ・いなべの人と繋がる。 主人の仕事の関係で、2023年4月に東京から桑名市に引っ越し、2025年4月にまた東京に引っ越しました。 2年という短い期間でしたが、いなべにはたくさんの思い出があり、いなべの自然やそこに集う人たちが大好きです。 私の経験や想いが何かの役に立てばと思い、僭越ながらコメントを寄せたいと思います。 我が家の5歳になる息子はとにかく体を動かすことが大好きで、東京にいた頃は河原で友人たちと遊んだり、プレーパークに足繁く通っていました。 2023年に桑名市に越してきて、親戚や友人も全くいなく、遊び場といえば公園か支援センターくらいしかなく、とても辛かった時期がありました。 本当なら、もっと自由に土や水や火や生きものに	貴重なご意見ありがとうございます。 屋内外が融合した遊び場の必要性や、いなべの自然環境との繋がりを重視する考え方について、重要と考えます。一方で、プレーパークのような開放的な空間は、人材の確保や他の用途との兼ね合いを丁寧に調整する必要があると考えます。 いただいたご意見を参考に、検討を進めます。 (こども政策課)

触れて五感をフル活用し、かつ人に囲まれた環境で遊ばせたい。ただそれだけなのに、それが叶わない現実がありました。

越してきて少しずつ知り合いも増え、ありがたいことにいなべとのご縁もでき、外遊びできる仲間ができました。

そうして人と繋がっていくことでようやく、自然の中で、母も子ものびのびと遊ぶことができるようになりました。

私が以前住んでいた世田谷区では「プレーパーク」という文化が定着していて、いつでも誰でも子どもだけでもふらっと遊びに来て、誰に何を言われることもなく、自由に自分の遊びに没頭できる場所があります。

泥んこ、水遊び、焚き火ができ、一般的な公園とはまったく違う趣きです。

小さな子の母親たちはそこに集い、ちょっとした井戸端会議のように、何気ない会話が生まれ繋がりができます。

翻っていなべ市では、素晴らしい自然環境があるけれど、そこを遊び場にするにはハードルがあります。

一緒に遊べる仲間がいなければ、初めての場所で親子だけで遊ぶというのは、なかなかできないことだと感じています。

屋内の遊び場の要望が多いということですが、屋内だと気を遣ってしまい、のびのびと過ごせないというのが正直なところではあります。

支援センターでも、大胆に遊ぶ我が家の息子にとっては手狭で、他の親子に迷惑をかけないか内心ヒヤヒヤしてしまい、ゆったり過ごすことはできません。

はいはい以降の赤ちゃん連れであれば、お昼ご飯も部屋を汚してしまうのではないかと落ち着いて食べることができません。

室内では遊べない、遊びづらいけど、外でも親子だけでは遊べない、遊ぶ場所を知らない、遊べる仲間もいない。

	そんなかつての私と同じように困っている人にとっては、屋内だけでなく、屋内と屋外をうまく両立させて、人と人が繋がっていけるような場所があるとすごく良いなあと思います。 映画で有名になった、川崎の夢パーク。 あんな場所をイメージしています。 川崎といなべでは様々な事情が異なりますし、子どもたちの移動手段などの問題もあるかと思います。 まったく同じようにできるものではないとは思いますが、参考にさせていただけたら幸いです。 桑名に2年間住んでいましたが、日々遊ぶ場所はいなべが多く、息子の園もいなべでした。 将来的に、いなべに移住もありだなあなんて、思ったりしています。 今よりももっと素敵ないなべに。 応援しています！	
15	こどもが、遊べる里山 公園ではなく、木があり、草も生えた遊び場、虫も蝶もいて、冒険できる場所、 管理は、草刈り程度で、大人がいない場所、 遊具は、一切無し、そんな遊び場をたくさんつくる、地域の方が、2ヶ月に1回くらい 遊びの相手、工作などの教室を開催、 すぐに、箱物を作り、テーマパークのようなものをつくる、これだけは、辞めてください。 こどもの、考える力を奪ってしまう。	貴重なご意見ありがとうございます。 里山の遊び場や、管理や遊び方について、こどもの育ちを支え、考える力が身につくよう、いただいたご意見を参考に、検討を進めます。 (こども政策課)

16	いなべ市こども・子育て拠点施設整備基本構想に関するパブリックコメント いなべ市が策定を進めております「いなべ市こども・子育て拠点施設整備基本構想」について、今後のいなべ市の未来を担う子どもたち、そして子育て世代を支える重要な施設となることに期待を寄せるとともに、以下の３点について意見を提出いたします。本施設の整備が、より多くの市民にとって利用しやすく、安全で持続可能な拠点となることを心より願っております。 1. 交通のユニバーサルデザイン化と AI 搭載無人バスシステムの導入 現状、いなべ市において車を所有していない方々が公共交通機関を利用して施設へアクセスする際には、徒歩、または一日数本しか運行されないコミュニティバス（福祉バス）に頼るほか、他家族の運転に同乗するといった選択肢に限られており、その利便性は非常に低いと言わざるを得ません。 新施設が真に「みんなの居場所」となるためには、交通手段の確保が不可欠です。そこで、利用者が事前に時間予約をできる AI 搭載無人バスシステムの導入を強く提案いたします。これにより、車を持たない市民でも気軽に施設を利用できるようになり、交通のユニバーサルデザインが実現されることで、子育て世代を含む多様な市民のアクセス性が飛躍的に向上すると考えます。 2. 南海トラフ巨大地震発生時における防災機能の強化とスフィア基準の導入 いなべ市の位置は、南海トラフ巨大地震発生時に甚大な被害が想定される地域であり、近隣市町村からの二次避難の場所としても考えられます。本施設の整備にあたっては、平時利用だけでなく、災害時の機能強化を備えた施設であれば、予算の費用対効果もさらに向上することと存じます。。政府が掲げる「避難所に対する国際基準である「スフィア基準」を踏まえた防災機能」を迅速に整備し、広域からの避難者、特に人権に配慮し	貴重なご意見ありがとうございます。 交通のユニバーサルデザイン化と AI 搭載無人バスシステムの導入について、現在は AI 搭載無人バスシステムの検討は行っていないですが、ご提案の目的である「車を持たない市民も気軽に施設を利用」といったアクセスを実現できるよう、公共交通のあり方を考えていきます。 南海トラフ巨大地震発生時における防災機能の強化とスフィア基準の導入について、南海トラフ巨大地震の影響を考慮し、慎重に検討を進めます。ただし、施設の整備規模を考慮すると、必ずしも広域対応が可能な施設にはならない可能性が高いことをご理解いただければと思います。プライバシーや衛生環境への配慮を含め、可能な範囲で防災機能を導入できるか考えていきます。 施設内外のメンテナンスにおける高齢者、ひとり親保護者の雇用創出と自動化の推進について、維持管理はボランティアに依存することは考えておりません。持続可能な運営体制の構築を目指します。効率的なメンテナンスのため、ドローンや自動化技術の導入も将来的には重要な要素と認識していますが、維持管理の内容を定める段階で導入できる技術や人材の活用については調整を行います。 (こども政策課)
-----------	--	--

た環境での安全確保を目指す避難所としての機能を持たせることを提案いたします。例えば、多様な背景を持つ避難者が安心して滞在できるよう、プライバシーに配慮した空間、衛生環境の確保、必要に応じた物資供給体制などを計画段階から考慮することが重要です。これにより、本施設はいなべ市民だけでなく、被災時の広域的な支援拠点としても貢献できると確信しております。

3. 施設内外のメンテナンスにおける高齢者、ひとり親保護者の雇用創出と自動化の推進

施設の維持管理においては、ボランティアに過度に依存するのではなく、持続可能な運営体制を構築することが重要です。特に、屋外の草刈り作業などにおいては、夏の高温下での作業は熱中症のリスクが高く、ボランティアに頼ることは安全性の観点からも望ましくありません。

そこで、熱中症予防等の安全対策を十分に講じた上で、高齢者の雇用を創出し、彼らが活躍できる場を提供することを提案いたします。また、効率的かつ安全なメンテナンスを実現するため、自動草刈りロボットなどの導入、見回りドローンなどの導入を検討し、そのための適切なメンテナンス費用を予算として確保することを求めます。これにより、施設の美観と安全が維持されるだけでなく、地域における高齢者、ひとり親保護者の社会参加と経済的自立を支援することにも繋がり、地域共生社会の実現に貢献できると考えます。

以上ご検討よろしくお願いいたします。

17	このたびの「こども・子育て拠点施設」整備に向けた基本構想案の策定に心より敬意を表します。 私自身、BIENE CREATE (ビーネクリエイト) という名称で、いなべ市を拠点に個人で活動しているドローンインストラクターです。小中学生向けの「ドローン塾」を通して、地域のこどもたちにプログラミングや技術・安全に関する学びの機会を提供しています。 今回の構想案にある「こどもたちが天候に左右されず遊び、学べる場所」や「保護者が安心して集える場所」という趣旨に強く共感し、ぜひこの拠点施設内にドローンスポーツやプログラミング教育を取り入れるスペースの設置をご検討いただきたく、提案させていただきます。 ドローンを活用した教育は、以下のような効果が期待されます： ・ 楽しみながら理数系 (STEM) の学びにつながる ・ プログラミングや法律・ルールへの理解を深められる ・ 手先の器用さや空間認知能力、チームワークも養える ・ 将来的な職業選択の幅を広げるキャリア教育としても有効 また、現在部活動の地域移行 (外部委託) が進む中、こうした活動を放課後や週末に「地域の教育機会」として提供することは、こども・子育て支援の観点からも非常に有益だと考えております。 「こどもまんなか社会」の実現に向けて、遊びと学びが融合した場をこの地域に根づかせていくためにも、ドローン教育の導入をご一考いただければ幸いです。 ご検討のほど、何卒よろしくお願いいたします。	貴重なご意見ありがとうございます。 いただいたご意見を参考に検討を進めます。 (こども政策課)
-----------	---	--

18	この基本構想に賛同致します。皆さんに愛される場所になれると良いですね。子どもが思いっきり遊べて、友だちや地域の方々とふれあえたらどんなに素晴らしいことでしょう。言葉で伝えるのは、資料として提出させていただきます。6枚。少しでも取り入れて頂ければ。 この他に建物の外に大屋根がある公園があり起伏のある芝生の上で遊んだり、推進 10 センチくらいの水遊び場があると良いとおもいます。木の椅子作りイベントをして出来上がったものを周りに沢山おいて、どの年代の市民さんにも腰かけてもらえると良いとおもいます。楽しく大変なお仕事になられると思いますが、皆さんに、とってもとっても喜ばれると思います。 どうぞよろしくお願い致します。	貴重なご意見ありがとうございます。 こどもが思い切り遊べ、友達や地域の方々とふれあえる場所づくりについて、別添の資料も参考に、検討を進めます。 (こども政策課)
19	1. 単独施設については再考を ・将来少子化でこどもの数が減少し利用者が減る可能性がある。 ・大安児童センターやキャンプ場が利用者が減少し(又は老朽化利用者が多ければ改修するが閉鎖を余儀なくされた。 ・ショッピングモール併設や明石市のように都会で人口集中する駅のようにであれば利用者は見込めるが ・こども対象で幼児は昼間保育園、中学生・高校生はクラブ活動や塾勉強で行く時間が取りにくい。又小学生は学校近くの児童クラブ等自分で行けるが、この大安庁舎は子どもだけでは利用しにくく、親の送迎が必要ですが以前と比べ共働き家庭が多く余裕がなくなっている。祖父母に依頼するか、福祉バスのコース・時間等を検討して、もっと他市のようにこどもが集まりやすくする方法があるが。 ・そこで以前提案(別紙添付)しました。複合機能を有した中央図書館に回収しそれに併設しより巾広い多くの人たちに活用していただく施設にしたらベターだと思う。将来的に無駄な施設にならないように。	貴重なご意見ありがとうございます。 単独施設の再考について、本施設は、幼児、小中高生、若者、子育て世代が、遊び、学び、相談などで活用できる「複合的な場所づくり」を目指しています。基本計画策定の際には、今後の人口推計を分析し、施設機能の精査とともに、公共交通等のアクセス方法についても検討を進めます。 建替えについて、行政改革の一環として、公共施設のあり方を見直す必要があり、公共施設等総合管理計画の方針に基づき検討を進めます。 PFI の活用について、地方公共団体が実施するPFI事業は、平成 24 年度末と令和 4 年度比較で、件数が 346 件から 848 件に、実施団体数が 189 団体から 399 団体と 10 年間で着実に増加し、人口の少ない市区町村ほど、未実施団体が増える傾向にあります。 (令和 6 年度官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム/内閣府民間資金等活用事業推進室) PFIの活用は、3 つの効果が期待されています。

	2. 建替えについて ・旧大安庁舎は強固な建物と聞いているので、耐震化し改修して利用した方が経費がかからないと思う。 - また、員弁庁舎・北勢庁舎や体育館ホール・藤原地区の小学校等改修したりして活用しているので、今の旧大安庁舎も活用してほしい。 3. PFI の活用について 桑名市の図書館が PFI で建設・運用しているが、全国的に注目されたものの、その後も活用する自治体は少ない(良ければ増えるが)。 ・資金は民間資金を活用するが返済が必要。図書館の運用は民間だが経験がなく、経費が固定され人件費が上げられず、職員のモチベーションが上がらない。 ・30 年間均等償却(建設費・運用費・維持管理費)で 30 年後市へ移管されるが、修繕費がかさむ。 ・運用は民間であるが収益を伴わないので、民間にはなじまない。	公共の観点として、①公共サービス提供の低コスト化・財政的・人間的な行政負担の軽減することができる。 利用者の観点として、②質の高い公共サービスの提供を受けることができる、 民間事業者として、③官民の役割分担の見直しによる新たな事業を創出することができる。 以上の観点も踏まえながら、検討事案に応じて、各手法(直営、PFI 等)によるメリット、デメリットを確認し、PFI 活用についても選択肢の一つとして進めていく予定です。 別紙にもございました「複合機能を有した中央図書館に改修」について、この構想は、こども子育て拠点施設の整備において図書の設置を考えていることをご理解いただければと思います。対象は主にこども、若者、子育て世代ですが、ご提示いただいたさまざまな事例を参考に、多世代が利用できるしくみづくりを考えていきます。 (政策課、生涯学習課、こども政策課)
20	○子育て拠点施設に、子どもを遊ばせられるスペースを設計、利用時間を7:00～21:00としてほしい。(学習スペースも同様) ・遊びスペースの長時間利用の理由は、ファミリーサポートの預かりのニーズが多様化し、両親の仕事が遅くなり、夕飯時間の頃まで(18:00～19:00)まで預かってほしいとの要望がある。公的なスペースで子どもを見ることができると預ける側も見る側も安心して相互援助活動ができる。 ・学習スペースでは電車で帰ってくる学生が駅から歩いてこのスペースで自習をし、親が迎えに来るのを待つことができる。学びを求める世代は十代だけではなく、仕事の帰りに勉強したい人もいる。そのため、利用時間を広げてほしい。 ○健康的な体づくりに ・施設の周辺にウォーキングコースを設け、例えば「1周すると1km」など分かりやすくして、日常の体力作りに利用してもらおう。高齢者や障がいの	貴重なご意見ありがとうございます。 利用時間のご提案については、ご意見いただいたとおり、地域のニーズがあることはアンケート調査で把握しております。また、コミュニティバスのあり方も、こどもが自身が通えるようになるため考えていく必要があると思います。今後、持続可能な運営形態を考える過程で参考にさせていただきます。 ウォーキングコース等の具体の機能についても、こども・若者世代の成長や利便性に資するものと考えます。 別添の資料も参考に、計画を進めます。 (こども政策課)

方のために手すりやバリアフリーの環境も整えて もらいたい ○ドッグランのスペースもあるとありがたい ○大安イオンのフードコートのような飲食もでき て、自由にくつろげる場所 ○地元のパンやスイーツ屋さんが、週 or 月替わ りに販売にくる○ 夏休みや冬・春休みの長期休 みに、いなべ市内の子どもたちが利用できるよう に、コミュニティバスを走らせる （親が登録しパスを発行）…これは少々有料でも 利用される人は多いと思う ○施設周辺の道路や街灯の整備をお願いした い。 ○木遊館のようなスペースでいなべの木を（説 明プレートをつけて）もちいた箇所があるといい な こそだて拠点施設にぜひ設置していただきたい もの ○全天候型の公園 ・いなべ市には、雨の日や猛暑の日でも遊べる施 設がありません。自然体験を子どもたちにさせて あげるためには、屋根があり、しかも外遊びがで きるような公園の設置を多くの子育て世代の人 たちは望んでいます。 ○ 宇賀川沿いの施設であることから、川の水を 利用して小さな子も遊べる小川遊びスペース、ど ろんこ遊び場、木のバリの体験スペースなどでき ると良いです。休憩スペースがあると良いかと思 います。希望する施設のイメージは別紙に？
